

## 令和5年度 自己評価・施設関係者評価結果

本園における自己評価の結果について、下記のとおり公表いたします。この評価結果を踏まえ、今後もより良い教育・保育が提供できるよう努めて参ります。

＜令和6年5月31日 幼保連携型 光西認定こども園＞

- 開催日時 令和6年5月15日（水）18:00～19:00
- 開催場所 光西認定こども園 2階会議室
- 評価委員 委員長 重井 睦（社会福祉法人北見福祉会評議員）  
副委員長 谷口文敏（西富町内会副会長）  
委員 山崎俊輔（光西こども園PTA会長）
- 園説明者 園長 佐藤 亮、副園長 古屋郁代、指導保育教諭 伊藤友美
- 評価の方法について  
○本園の職員一人ひとりが、A:大変良い（4点） B:良い（3点） C:一部検討が必要（2点）  
D:改善が必要（1点）により、自己評価を行いました。  
○その後、全職員分を集計した平均値が「1.5以下をD」、「1.5～2.4をC」、「2.5～3.4をB」、  
「3.5以上をA」とし、本園としての自己評価として記入しています。
- 教育・保育目標  
\*感性豊かで、身体の丈夫な子ども  
\*友達といっぱい遊び、仲間を大切にできる子ども



評価項目		評価	評価コメント（取組状況）
理念等	「理念」や「教育・保育目標」が明文化され、周知が図られている。	B	○法人としての理念や、園の「教育・保育目標」は明文化され、ある程度の評価をされているが、より一層意識化できるよう取り組んでいく。
経営状況	経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。	A	○法人・こども園運営を含めて、北見福祉会として中期事業計画を策定して取り進めている。 ○事業計画は毎年、成果と課題を理事会等で協議している。評価・反省を基に課題を明確にし、具体的な取組を進めていく。
	本年度、もしくは中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	A	
指導目標	指導計画について、毎年及び毎月ごとに反省・検討し、子ども達の育ちを第一に考え、教育・保育に活かしている。	B	○毎月、園内で反省し、それを基に次月の指導計画に反映するよう見直している。年度末には年間の反省を基に次年度の全体計画を作成しているが、より教育・保育に活かすよう、PDCAを確立し、より良い指導計画の策定と一つ一つの実践を積み上げていきたい。
人権尊重	子ども一人一人に寄り添い、子どもが自分の思いを伝えることができるように配慮している。	B	○子どもに寄り添った言葉かけや接し方等の教育・保育を重点としている。 ○これからも職員間での確認や研修、職員会議等を活用して、人格を無視するような言動がないように、園全体で取組を進めていく。
	子どもの心を傷つけたり、人格を無視するような言動をしないよう、十分配慮している。	A	
園行事	指導計画をもとに行事のねらいを定め、それが達成できるように実践している。	B	○感染症対策を講じながら各種行事を従来通りの形に近づけ実施してきたが、達成感等、十分なものとはならなかった。今後も状況を見極め、各種行事のねらいの達成に向けた取組を進めていく。
発達援助	子ども一人一人の理解を深め、受容しようと努めている。	A	○子ども一人一人、個に応じた教育・保育を進めるよう、日頃から職員へ働きかけをしている。 ○送迎時の保護者との情報交換や連絡帳の活用、子ども達との直接的なふれあい等を通して、子ども理解を意識的に実践してきた成果が出ていると考える。今後も保護者のニーズに応えながら、子どもの発達援助を配慮した教育・保育を展開できるよう、一層の理解や連携の仕方を研修会等を通して工夫していく。
	子どもの言葉（幼児は行動や表情）によく耳を傾け、丁寧に対応している。	A	
	基本的な生活習慣については、家庭と連携しながら（朝夕のお話や連絡帳等も含め）、子どもの状況に応じて対応している。	B	

評価項目		評価	評価コメント（取組状況）
教育・保育内容	年齢や子どもの興味に沿った遊びを工夫している。	B	<p>○年齢相応のより質の高い教育・保育、子ども達の興味を引き出す教育・保育の実践には、まだまだスキルを高める必要があると感じている保育教諭が多い。</p> <p>○子どもの興味のある事だけでなく、職員のニーズに合った研修会等を通して、質の高い教育・保育を展開できるよう工夫していかなければならない。</p> <p>○今後も今まで以上に、保育教諭一人一人意識することが重要である。</p>
	身近な自然とかかわる機会を作り、子どもの様々な興味を引き出し、自然の素材を教育・保育に活用している。	B	
	身体を使った様々な遊びを工夫して実践している。	B	
	様々な素材を使って、描いたり、作ったり、自由に表現できるように配慮している。	B	
保育環境	保育室や遊戯室、園庭等、園舎内外の整理整頓を心掛け、危険なものを放置しないなど安全に配慮している。	A	<p>○月に1回、職員が担当箇所を危険が無い点検している他、日常的に安全確認をするように心掛けている。</p> <p>○消毒作業は、引き続き用務員を含めて毎日実施している。今後も感染症対策として、継続していく予定である。よりよい保育環境の維持に努めていく。</p>
	保育室やトイレ及び教育・保育用品の衛生管理に留意し、定期的に消毒している。	A	
食育等	楽しくゆったりと食事ができるように、また、個人差に応じた食事介助・指導に努めている。	B	<p>○発達段階や個人差に応じて、楽しく食事ができるように努めている。</p> <p>○3・4・5歳児を対象とした栄養士の方による「食のおはなし」や5歳児の給食食材の分類、また、園の畑での活動は、子ども達の食育につながるものとする。但し、畑の維持・管理等、各クラスの対応だけでは難しく十分な取組とはなっていない。</p> <p>○給食担当者は、指導保育教諭と相談しながら行事に合わせたメニューを提供するよう努めている。そのことにより、行事とメニューのつながりを子ども達が知り、喜んで食べている様子がうかがえる。</p>
	給食や収穫物の調理等を通して、食材への関心や食べる意欲を育てている。	B	
	各行事に合わせたメニューを工夫して提供している。	A	
障がい保育	保護者の理解のもと、関係機関や医療機関と連携を図り、指導・援助を受けている。	A	<p>○市の発達支援センター「きらり」に通う子が数名おり、関係職員と情報交換をし、全体にも周知している。</p> <p>○今後も一層の子ども理解や連携の仕方を研修会等を通して学び、園として共通理解のもと教育・保育を進めるよう努めていく必要がある。</p>
	個々の障がいを理解して、教育・保育にあたっている。	B	
健康と安全	避難訓練や交通安全指導については、年間計画に基づいて実施している。	A	<p>○避難訓練は年間計画に基づいて毎月実施している。警察署員による交通安全指導は、感染症対策を講じ3歳以上児で実施した。併せて、お散歩時等、子ども達と安全な歩き方や交通ルールについて確認している。</p> <p>○子どもの体調変化にはどの職員も意識化されており、少しでも体調不良や微熱等の症状があれば、迅速に対応するよう努めている。</p> <p>○食事中の事故防止は、日頃から注意・指導をし、マニュアルにそって介助しているが、職員全体の共通認識の下、職員間のチェック機能を強化し意識化していきたい。</p>
	子どもの健康状態を把握し、体調の変化に速やかに気付くように配慮している。	A	
	食事中やお昼寝中の事故防止のため、マニュアルを基本に介助・観察を行っている。	A	
保護者支援	朝夕の送迎時及びクラスだよりや連絡帳・掲示板等を活用し、子どもの様子を伝え合うように努めている。	A	<p>○子どもの様子をいろいろな場面を通して、保護者に伝えるように努めた。特に、子どもの送迎時の保護者との情報交換を含め、意識して取り組んでいる。</p> <p>○参観日や懇談会、日常の連絡等を通して保護者の悩み等に傾聴し、信頼関係を築いていけるよう努力している。今後も研修会等を通してスキルアップを図り、保護者の願いをできる範囲で受け入れ、子育てで共通理解を図れるよう配慮していく。</p>
	参観日や懇談会等を通し、保護者と共通理解を得るための機会を設けている。	A	
地域連携	地域の人々との様々な交流（学校や施設を含む）の機会確保につとめている。	B	<p>○感染防止対策で小学校や地域・保護者との交流は停滞しているが、状況に合わせて出来る範囲で交流を深めてきた。今後も関係者評価委員（町内会役員・関係機関の方）の助言を受け今後の園運営に役立てたい。</p> <p>○市の支援センターをはじめとした関係機関とは、一層連携を密にしていきたい。</p>
	必要に応じ、専門機関や関係機関との連携を図っている。	B	

全体を通して	<p>○こども園としての自己評価は「Bの上」となった。(全項目の総点数を項目数で除した点数が「A」には達していない。)</p> <p>○全体的に法人や園としての取組、及び職員の努力により一定程度の結果となっているが、より組織体として向上心をもって園の運営を進めていかなければならないと考える。</p> <p>○教育・保育については、指導計画に沿ったより具体的な実践を心掛け、PDCAによるより質の高い個に応じた対応ができるよう努めていく。</p> <p>○感染症対策が緩和されたとはいえ、思うように実施できなかった行事や地域との交流等、今後も状況を見極め教育・保育も含め実施内容や体制等を検討していきたい。</p> <p>○職員の働き方改革を含め、園行事やPTA行事等、行事の精選や見直しを実施することができたのは、成果の一つと考える。</p>
--------	--

評価委員からの意見等	<p>○当園の取組状況や自己評価結果等の説明から、きめ細かな指導をされていることが伝わってきた。</p> <p>○指導の充実のためには「人」である。自分達の取組を見つめ、より良い対応をされていると思うが、教育・保育内容の充実のためにも、個々のスキルを高めていくことが大切と考える。</p> <p>○課題とされている、アレルギー対応や障がい保育は、研修等を通してスキルアップされると良い。</p> <p>○施設の関係では、オール電化ということで電気代等の対応も大変なのではないか。施設の老朽化に伴う計画的な補修が大切である。</p> <p>○感染症の対策について、特に、コロナ感染では5類に移行しているので、どこかでくぎり(いつまで、どこまで対応していくのか等)をつけていくよう、今後検討が必要なのではないか。→法人として最低限度の対応をしていくこととしている。まずはこども園の運営に支障が出ないよう状況を見極め対応を検討していく。</p> <p>○小さなお子さんを預かり、いろいろな取組をされ、大変なことと思う。「自己評価」は、職員自身のことには振り返り評価すると厳しくなるものと思うが、これだけA評価項目があるのは素晴らしい事と思う。</p> <p>○所用で当園に来ることがあるが、職員の挨拶が気持ち良いと感ずる。園の雰囲気や職員の対応が良いからではないか。今後も、自分に気をつけながら頑張ってもらいたい。</p>
------------	--